

## 2019 (平成 31) 年度前期 第 1 回 DUO リーグ会議議事録 (案)

### ◆DUOリーグ・アウォーズ 2018 報告

#### 1. 前期リーグ … 10月29日(月)18時より駒込高校にてアウォーズ開催 (組み合わせ抽選会の合間)

1部リーグ 優勝 … R本郷

MVP: 田中樹医 (R本郷)

得点王: 村田陸 (R本郷、8点)

2部リーグ 優勝 … 日大豊山C

MVP … 泉涼太郎 (日大豊山C)

得点王 … 瀧山伸 (駒込C、13点)

3部リーグ 優勝 … 城西B

MVP … 佐藤嵐 (城西B)

得点王 … 福地理世 (FC西巣鴨03、9点)

優秀審判賞…該当者なし

特別賞…該当者なし

### ◆DUOリーグ会議

【日 時】 2019 (平成 31) 年 2 月 24 日 (日) 17:00~19:30 (日程調整会議は各リーグ毎に後日開催)

【場 所】 筑波大附属 会議室

【出 席】 35クラブ(氏 名)

都 小 石 川 ( 宗友 )	昭 和 一 ( 永井 )	三 菱 養 和 ( 欠席 )
京 華 ( 小金丸 )	都 向 丘 ( 中村 )	筑 波 大 附 ( 中塚 )
学 習 院 ( 玉生 )	豊 南 ( 塩田 )	本 郷 ( 岩野 )
城 西 ( 崎野 )	豊 島 学 院 ( 早川 )	郁 文 館 ( 井上 )
駒 込 学 園 ( 吉田 )	巢 鴨 ( 馬場 )	立 教 池 袋 ( 橋本 )
獨 協 ( 新井 )	淑 徳 巢 鴨 ( 石原 )	都 竹 早 ( 菱輪 )
日 大 豊 山 ( 海老根 )	都 文 京 ( 鳥海 )	都 足 立 ( 井上 )
都 江 北 ( 大原 )	足 立 学 園 ( 伊藤 )	都 荒 川 商 ( 大塚 )
中 大 高 ( 加藤 )	都 千 早 ( 井手口 )	都 足 立 新 田 ( 小俣 )
貞 静 学 園 ( 杉本 )	都 淵 江 ( 栗山 )	都 豊 島 ( 浅井 )
都 青 井 ( 堀井 )	FC 西 巣 鴨 03 ( 岸 )	文 中 選 ( 丸山 )
都 足 立 西 ( 佐々木 )	都 立 足 立 東 ( 和田 )	

【欠 席】 三菱養和、

【オブザーバー：選手】

網谷 (筑波大附)、畑川 (筑波大附)

【オブザーバー：一般】

中島 (駒込)、中村 (文京)、三輪 (筑波)、佐藤 (事務局)、岸 (事務局)

【議事録作成者】 佐藤雄大 (事務局)

## 【報告】

理事会報告：2019年2月16日（土）17：30～19：30 2時間 於本郷高等学校 第二PC室  
岩野、玉生、小金丸、遠藤、井上、大塚

## ＜議 題＞

### I. 八丈島遠征について

➤岩野チェアマン 2018年8月26日～28日に実施された八丈島遠征について報告された。

（詳細は別紙報告書参照）

- DUOリーグからは938,089円（飛行機代・活動費・講師謝金など）を支出した。
- 2019年度以降の実施については、以下が結論として報告された。
- 遠藤理事よりこのような企画を今後も続けていくのかどうかの議論はすべきとの発言があった。この八丈島遠征は指導者の立場として大変良い機会ではあったが、そこで学んだことを八丈高校の生徒にフィードバックするなどより深い勉強ができればなおよかったのではないかという反省点が挙げられた。
- 岸事務局長より今回の八丈島遠征は90万円という大きな額がかかったため、そこで学んだことを先生だけでなく生徒たちにまで還元する場（技術講習会など）を設けていくことがよいのではないかとの発言があった。

理事会にての結論は以下の通り。こちらを原案としたいと思います。

具体的には

- ①今回は視察ということでも動いている。行って見て実際高校生を連れていけるかを判断する形をとると考えると、2019年度は開催を見送り、企画や予算の見直しなども含めて練り直す時間が必要なのではないか。よって2019年度の予算には八丈島遠征は組み込まない。
- ②DUOリーグ予算・決算案も見ての意見。今、繰越金を減らしていこうという流れの中、予算を組んでいるので積立金をしていこうということは安易に言えない。積立金をつくるために参加費を上げるのか、加盟費を復活させるのか、選手登録費(パンフレット購入金)などを考える必要がある。お金を上げないのであれば、削れる部分はないのかを考える必要があるし、全額負担でなくても一部負担の企画にするなど、この話をするための別の理事会または企画部を立ち上げる必要がある。
- ③今回は荒川商業や DUO 選抜を連れていくことができなかった。よってスタートが視察と指導者のレベルアップという形になってしまった。この企画自体は DUO リーグにとってメリットがなくてはいけない。今回は指導者のレベルアップという側面では効果があっただろう。しかし、今後続けていくのであれば、選手を連れていくことが大前提となる企画。要するに選手がメリットとなる企画でなければならない。今後の話し合いの部分でも、これが一番メインとして話し合うべきである。

### II. サロン2002より

➤2018年度決算（別紙参照）

- 岸事務局長より2018年度決算について報告した後、全会一致で承認された。

➤2019年度予算（別紙参照）

- 岸事務局長より2019年度予算について報告した後、全会一致で承認された。
- 優秀審判賞賞品について岩野チェアマンより、2017年度に全クラブに配った審判セットの余りが10着ほどあるためpenaltyのセットであれば新しく買う必要はないという提案があったが、予算として1万円は残すこととした。

- 事務局を担うNPO法人サロン2002の中塚理事長（筑波大学附属）よりDUOリーグに対する願いがあり、議論がなされた。以下にその内容を記す。

中塚「本来であれば理事会の前にチェアマンに問題提起してここで揉んでもらってから出すべきことなのですが、割と時間的に追い込まれた状況での話となってしまったので、今日ここで皆さんに初めてお諮りします。岩野チェアマンには電話で色々話をしてみました。DUOリーグの事務局業務を請け負っているのがNPO法人サロン2002、私がずっと理事長を務める、研究会がNPO法人になって今いろんな活動をしているんですけど、実は昨年このような広報誌（冊子を見せながら）を都々の助成金などをもらって作成しました。今年度もこれと同じようなものを作って、今ちょうど作っているところです。ホチキス止めの資料の3枚目に目次というものがついていますが、実は今年度の中身が、一つが毎年やっている公開シンポジウムの報告なんです。それが今年は高校サッカー100年を機にということで、部活動問題が色々取り上げられている中で、その問題を取り上げました。演者としては大学の先生からジャーナリストから色々出てきているんですが、この中身をしっかりと報告書の形で載せていると、さらには寄稿編のところでは岸君も中塚もDUOリーグがらみの話も書いてあって恐らく皆さんにも参考になるんじゃないかと。それ以上です、右側のサロン2002からのメッセージということで「オリンピズムを教育に」ということと「ユース年代にリーグ戦を」という記事を掲載して皆さんにも配布できるようにしたいなと考えました。去年は200部くらいしか作らなかったんですけど、今年は500か600作って皆さんにお配りしたいという風に計画を立てています。ただそうすると制作費がかさむんです。今回覧している昨年度の広報誌も一冊1000円位かかっています。もちろんtotoの助成金ももちろんもらうんですが、こっちからの持ち出し分も結構あって、どっかから広告収入を得ないと中々作れないなというのが最近見えてきたので、DUOの理事会後のチェアマンに直談判、だめもとだけとということで電話させていただき、ここでお諮りする次第です。結論申します。DUOリーグからサロン2002の広報誌に広告あるいは賛助金のような形で5万円の拠出は可能でしょうか。この予算書で言うと、その他企画費のところになってきますが、そのことを是非お諮りしたいなということで、非常に申し出にくい案件ではありますが、皆さんにお諮りしたいなと思います。実はDUOがサロンの公開シンポジウムの報告書に広告を出した事例というのは過去に何回かありまして、『あなたの街にもDUOリーグ』という広告を、例えば「育成期のサッカーを語ろう」というシンポジウムの報告書に出したり、あるいは「高校サッカー90年史を語ろう」という報告書にも出したことがあります。皆さんにも各クラブ一冊ずつ過去お配りした実績がございます。」

岩野「この冊子ですが、内容も高校サッカー100年ということで我々にも参考になる内容であるということプラス、加盟クラブに一冊ずつ配布したいということになりますと、今言った通り一冊1000円位するものなのでそれを無料で配布するとそれだけのマイナスになってしまいます。先ほどの八丈島の報告であった通り、これから八丈島遠征をやるためにお金をどうやって工面するかという問題も今直面していますということでしたが、今年度この内容であればDUO加盟クラブにプラスになるんじゃないかということで私自身チェアマンとしてであればいいんじゃないでしょうかという受け答えをさせていただきました。しかし、決定機関として、このDUO会議で諮らせていただければなという風に思います。お金の話なのでちゃんとした話ができればなと思います。（中略）予算を見てもらってもわかると思うんですが、その他企画費のところには広告宣伝費など含むと書いてありますが、ここの10万のうちの5万にあたるという案です。」

遠藤「中塚先生すいません、ひとついいですか。広告費として出した場合は、その中にページがあてがわれるんですか。」

中塚「それは相談なんですけど、何らかの広告をDUOで用意してもらえのならその広告を入れるスペースは作りますし、そうでなくて例えばその冊子にも報告書作成に賛助いただいた団体というので名前を入れている欄が一番後ろのほうにあると思いますが、そういう形もあります。」

遠藤「この後のタイミングではちょっと厳しいのではないですか。ページを刷新するのは大丈夫なんですか。」

中塚「今まさに作っているところなんで。」

岸「まだ間に合います。」

岩野「毎年協賛していこうという話ではない。今年度に限った話で、ちょっと来年度にしてくださいよという感覚なんですけど、僕としては。しかし、今年度の内容だったんで2019年度の予算に限っての5万円という報告ということです。」

遠藤「製本についてのタイミングが厳しいのであれば広告費ではなくて協賛にしていきたいと思います。で、質問が変わっちゃってすいません。2018年度の予算のその他企画費が1万円ですよ。それで2019年度の予算案が10万ですよ。これ、八丈島遠征がなければ普通1万円ですよ。だからここに5万円が入ってきて、それ全部但し書きは中塚先生のサロン2002のこれに対する協力費。で、残りの5万円は企画部の講習会のほうに回しちゃってここ7万にしちゃっていいんじゃないですか。そんな気がします。そっちを増やしていかないと、さっき岸さんが言った八丈島遠征のDUOリーガーに対するフィードバックができないんじゃないかと。そんな気がしてるんで。5万円出すのは賛成。個人的にはね、ですよ。ただ数字を入れ替えたほうがいいのと、広告の名称を変えていった方がいいんじゃないか、その方がすっきりするような、予算案としては、そんな気がしてます。」

岸「予算の意図を説明させていただいてもよろしいでしょうか。企画部講習会のところを恐らく2万円から7万円にしてはどうかという意見かと思いますが、企画費というところで企画部以外からも何か新しい試みが出てくる可能性があるかなというところで、「その他」という形で予算案としては計上しました。例えば企画部講習会という項目を変えるとかということでも、遠藤先生の話の踏まえるとありなのかなという風に思います。企画費ということで例えばそこで12万円ということでもありなのかもしれません。」

岩野「他に意見などありますでしょうか。(中略)なければこのまま5万円を広告費として出していこうかなと思います。この予算で2019年度は動きたいと思います。承認いただければ拍手をお願いします。」

(拍手が起こり、承認)

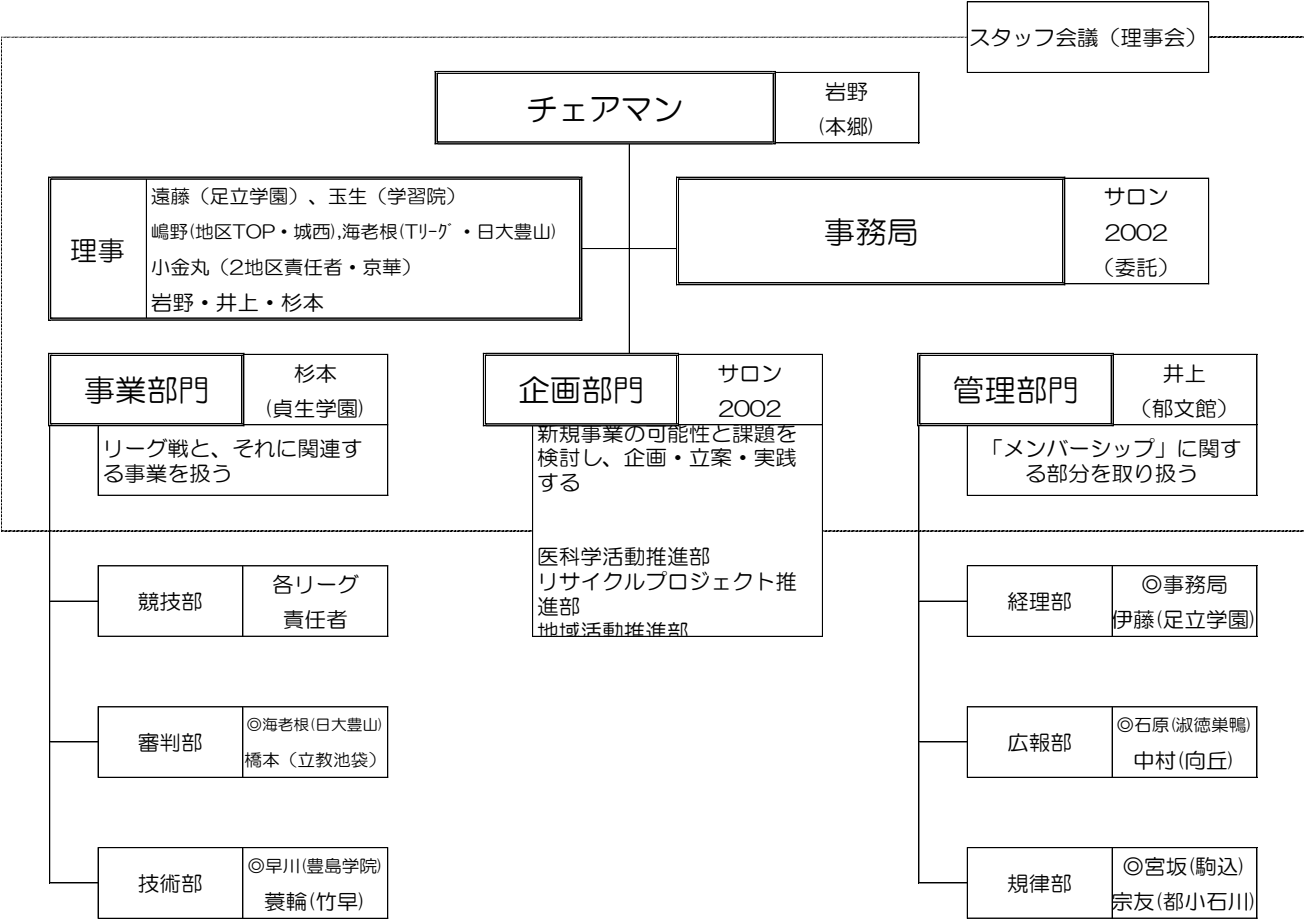
中塚「ありがとうございます。」

### Ⅲ. DUO リーグ組織

#### ➤理事メンバーの変更について

- 岩野チェアマンより理事メンバーの変更について提案された。地区トップの代表として嶋野氏に、Tリーグの代表として海老根氏に理事メンバーに参加してもらいたいと打診し、両者本人からは快諾されている。理事では承認されていますが、全体会での承認をお願いいたします。審判部から城西が抜けて理事になっています。日大豊山も理事に入っていますが、今年度で引継ぎをお願いします。
- 岸事務局長より、サロン2002が理事に入っているが理事ではなく、あくまで事務局として理事会に参加しているということであることを認識いただきたいと発言があった。

DUOリーグ会議



### IV.2018年 後期DUOリーグ(フレキシブルリーグ&リーグ戦)について

- 杉本事業部長より報告があった。詳細は後方ページ「配布資料」参照。
- 台風の影響により後期 DUO 会議で行うはずだった試合の日程調整が延期になってしまい、試合がうまく消化できなかったため、今年度は必ず日程調整の場を設けるようにする。
  - チャンピオンシップ出場チームへの打診が不十分であったり、順位決定が遅れてしまったりとあったためこれらの徹底が今年度は求められる。
  - 会場費の補助を受けられるようにしたが、これがうまく活用されているのか疑問がある。今年度もこれを活用して運営の方にも力を入れてほしい。

### V. 2019年度のDUOリーグについて

- ☆地区トップリーグからの依頼事項
- 玉生地区トップリーグ担当理事から説明があった。詳細は後方ページ「配布資料」参照。
- 2020年度より地区トップリーグのチーム数を現在の32チームから40チームにする。合わせてT4も16チームから20チームにする。これに伴い今年度の結果で地区トップリーグに上られるチーム数が2チームとなる。
  - 選手の負担軽減のため、トーナメントの合間に行うリーグ戦が8日間に3試合となったり、平日ナイターでの開催をするといったことを極力避けてほしい。

- 同一レギュレーションから代表チームの選出がされるようにするため、各地区リーグの1部はレギュレーションの統一を図る。
- 同一クラブ複数チームの参加ができないため、1部リーグに関しては玉突き降格のようなケースが起こりうる。このことをDUOリーグとして認めるかどうかの意見を岩野チェアマンが全体に対して求めた。特に意見も出なかったため、この方針で進んでいくことが決まった。

なお、以下に玉生理事と岩野チェアマンのやり取りを記載する。

玉生「1部リーグの試合時間を統一しましょうということで、90分、交代人数を5人、各地区1部はそれでやります、ということをお願いしています。表がありますけども、2地区、DUOリーグはそれでやっているのこのまま継続してやってもらって、ほかの地区なんかはこういう状況でやっていたということをご参考にいただければと思います。他の地区も90分5名の交代枠で1部リーグはやるということになっております。それとDUOリーグに対してのお願いなんですけども、同一リーグに同一クラブ複数参加についてということで、1部リーグへのお願いになるんですけども、2020年度からですね、各地区1部リーグに関しましては同一リーグ同一クラブ複数チームの参加は避ける、認めないということで進めることになっておりますので、2019年度は日大豊山が2チーム参加することになっているんですけども、2020年度からは1チームになるようにしていただきたいというのがお願いです。複数チームの昇降格についてですけども、地区トップリーグから上のチームが落ちてきた際にDUOリーグの一部にその下のチームがいる、そうなったときには入れ替えは当然できません。さらに1部リーグに一つ下を入れないということになっておりますので、玉突きで二部リーグに落ちていただくということになります。地区トップリーグへの昇降格に関してはこういったことも関わってくることをお認めいただければなという風に思います。以上地区トップリーグからのお願いでした。」

岩野「すいません、DUOリーグは関係ないかと思って流してしまったんですけども試合時間90分交代人数5は2019年度から全地区行われるということですか。」

玉生「これはやります。ここの部分に関しましては2019からやります。」

(中略)

玉生「1部と2部の入れ替えを、まあ例えばBが1部にいました。Cが2部にいました。Cが上がります。Bが降格します。そこはDUOリーグはありということでそのまま変わらないということでいいんですよね。」

岩野「まあ理事会で話した通り、そこはやっていきます。」

玉生「はい。そこまでちょっと確認しとかなないと。DUOの1部と2部の入れ替えのところは…」

岩野「地区トップに関しましては玉突きでどんどん落ちますけど、1部で頑張ってたけど最下位になっちゃった、そのCチームないしBチームが2部で優勝できたってところでの入れ替えはDUOはありにしていこう。今まで通りにやっていこうと考えてます。」

玉生「2部は複数チームありですよ。」

岩野「はい。あります。…変更はじゃあ1部の複数チームのみ、それ以外に関しては今まで通りということでDUOリーグを進めていくということよろしいでしょうか。」

これにより、DUO リーグ実施要項も変更が必要になってくる。

→地区トップリーグからの要請に加えて、上位リーグに常時出場している選手の出場を原則として認めないということが文言として加えられた。2020 年度までには明確なルールとして提示できるよう協議を進めていく。(詳細は「第 47 回 DUO リーグ実施要項」を参照)

#### ☆次年度リーグ編成

➤編成表を参照。

- 「日大豊山 C」を「日大豊山サテライト」、「日大豊山 B」を「日大豊山 U - 17」とする。
- 駒込が 3 チームとも同じグループに入るのを避けるため、一番下の順位だった駒込 C と郁文館のグループを入れ替える
- 城西の A と B の名前を入れ替える。(上位リーグに所属しているほうを A とした)
- 都立豊島を都豊島 B と表記 (B チームであることを明確にするため)

#### プログラム原稿について

##### 1) 選手登録

3 月 20 日までにメンバー表を提出すること。またプログラム原稿を 4 月 17 日(水)までに提出し、5 月末日までに所定の口座へ、参加費をクラブごとに振り込む(参加チーム数に応じて振り込む)

ここまでの提出から変更や追加がある場合は、随時メンバーリストへ流し、共有する。

プログラムのメンバー表(またはメンバーリストに流れた最新のメンバー表)と違う場合はリーグ責任者から注意が必要。

(1 年生の追加も試合前までにはメンバーリストで流せるはず)

常に試合時にはお互いに(リーグ全体に)最新のメンバー表を共有できていることが必要

## VI. 審判講習会

- 審判講習会について海老根氏より情報共有があった。

審判講習会担当の海老根です。いつもお世話になっております。

例年のように、4 級の審判員資格新規認定講習会を下記の日程で行います。

ユース審判員の育成が主な目的ですが、DUO 関係者であれば大人も受講できます。

よろしくお願い致します。

尚、昨年同様会場のキャパの問題もあり DUO 関係者限定とするため、申し込み時のパスワードを設定しております。

パスワードが

「duo02」

となっておりますので、申し込みをする方にお伝え頂き申し込み手続きを進めるようにしてください。

なにか不明点ございましたら日大豊山海老根までお問い合わせください。

日時：3 月 21 日(木・祝)

時間：8:30 受付開始 9:00~16:30 講習会(実技・ルールテストを含む)

場所：日本大学豊山高等学校・中学校

受付期間：2/12~3/7

## VII. その他

➤事務局より

- 各チームの加盟票は後程メールリングリストで知らせる宛先に直接メールで送ることが要請された。
- DUO リーグのホームページがリニューアルされたことの報告があった。

➤高体連より（永井氏）

- 2019年度の登録申請が始まっているので、該当チームは継続登録、チーム登録を例年と同じように kick off より登録して申請いただきたいとのお願いがあった。
- 高体連の日にちや振り込みの期日などの案内は後日改めてメールで連絡する。
- 電子の選手証になったので印鑑の効力がなくなってきている。Web なので申請してお金を払えば承認されるが、最終的には東京都サッカー協会が承認しないと先生方が写真を入れたりできない。永井氏より配布された資料の期日までに登録申請していただけたら、まとめてやりやすくなるためそれをできるだけ徹底していただけるようお願いがあった。

➤石原氏より

→「高校サッカー100年史」が完成したため、後日各チームに配布することが報告された。

➤オブザーバーとして参加してくれた生徒から

→網谷（筑波大附属）

「今回初めて参加して、こんな感じで運営されているんだということを知れて、より今までよりも強い意識で、高いモチベーションをもってこの DUO リーグに参加したいと思いました。今日は本当にありがとうございました。」

→畑川（筑波大附属）

「僕もこれまで DUO リーグはプレイヤーとして参加しただけなので、よくわからないことも多かったんですけども、八丈島でサッカーの交流会をやったりいろいろな活動をしていることが知れて、またこれらをさらに、部活などで発信していきたいと思いました」



2018 年度最終順位

【1 部リーグ】

1	R 本郷
2	豊島学院 A
3	都立足立 A
4	都立江北 A
5	立教池袋 A
6	都立荒川商業
7	京華
8	昭和一 A
9	淑徳巣鴨 A
10	豊島学院 B

【2 部リーグ】

1	日大豊山 C
2	日大豊山 B
3	都竹早
4	都小石川
5	駒込 D
6	中大高
7	都文京
8	筑波
9	駒込 B
10	足立新田
11	郁文館
12	駒込 C
13	都向丘
14	本郷 0
15	都青井
16	都豊島
17	都江北 B
18	豊南

【3 部リーグ】

1	城西 B	9	城西 A
2	都淵江	10	豊島学院 C
3	都足立 B	11	都足立西
4	FC 西巣鴨 03	12	都足立東
5	都千早	13	巣鴨
6	郁文館 B	14	都足立 C
7	都文京 B	15	昭和一 B
8	獨協	16	貞静学園

入れ替え後

地区	足立学園
1	R 本郷
3	都立足立 A
4	都立江北 A
5	立教池袋 A
6	都立荒川商業
7	京華
8	昭和一 A
1	日大豊山 C
2	日大豊山 B

9	淑徳巣鴨
10	豊島学院 B
3	都竹早
4	都小石川
5	駒込 D
6	中大高
7	都文京 A
8	筑波大附
9	駒込 B
10	足立新田
11	郁文館
12	駒込 C
13	都向丘
15	都青井
1	城西 A
2	都淵江
3	都足立 B

2019 年リーグ編成

【1 部リーグ】

地	足立学園
1	R 本郷
3	都立足立 A
4	都立江北 A
5	立教池袋 A
6	都立荒川商業
7	京華
8	昭和一 A
1	日大豊山サテライト
2	日大豊山 U17

【2 部リーグ】

9	淑徳巣鴨
4	都小石川
5	駒込 D
8	筑波大附
9	駒込 B
11	郁文館
13	都向丘
2	都淵江
3	都足立 B

10	豊島学院 B
3	都竹早
6	中大高
7	都文京 A
10	足立新田
12	駒込 C
15	都青井
1	城西 A

【3 部リーグ】

16	都豊島 B
4	FC 西巣鴨 03
5	都千早
9	城西 B
11	都足立東
14	都足立 C
15	昭和一 B

17	都江北 B
18	豊南
7・8	都文京 B
7・8	獨協
12	都足立西
13	巣鴨
16	貞静学園

16	都豊島	17	都江北 B
4	FC 西巣鴨 03	18	豊南
5	都千早	7・8	都文京 B
9	城西 B	8	獨協
11	都足立西	12	都足立東
14	都足立 C	13	巣鴨
15	昭和一 B	16	貞静学園

## 2018年度 後期DUOリーグ報告

### 【フレキシブルリーグ】

#### ○大会概要

- ・希望参加チームを募りリーグを作成。
- ・11人制、試合時間は双方話し合って決める。連戦や不消化もありとする。勝敗が決定しない場合には引き分けとする。
- ・メンバー表の提出は不要。
- ・結果は前期と同様メーリングリストに流す。→同時にサイトへのアップ
- ・フリーサイズフットボールと各リーグの優勝チームでチャンピオンシップを行う。

#### 《平成30年度報告》

各リーグ優勝チームとフリーサイズ優勝チームの4チームを、11人制（20分ハーフ）フルコートゲームでトーナメント戦を行った。

※江北高校は辞退チームがあったため繰り上げ参加

- |                              |
|------------------------------|
| ①足立新田-中大高（前半0-0、後半1-1、PK5-3） |
| ②駒込-江北（前半0-0、後半0-0、PK0-3）    |
| ③3位決定戦 駒込-中大高（1-0）           |
| ④決勝戦 足立新田-江北（0-1）            |
| 優勝：都立江北高校                    |

### 【フリーサイズフットボール】

#### 《平成30年度報告》

11月4日（筑波会場） 優勝 中大高

10月27日（京華会場） 優勝 本郷

9月23日（江戸川グランド）優勝 駒込A

今年度も開催が3大会と少なかったため、積極的に開催・参加をお願い致します。

#### ○DUO後期リーグ反省

##### 1) 日程調整について

・今年度は台風の影響で予定していた後期 DUO 会議（日程調整）が延期になった。そのため今年度の後期リーグの試合不消化が多かった。メーリングリスト上での調整を行ったが、別日で日程調整を必ず行うべきだった。

##### 2) チャンピオンシップについて

・出場チームへの打診が不十分なところもあり、日程が合わず辞退チームがでた。サイト上での結果、順位の確認と早めの順位確定を行う。

##### 3) 会場費について

・今年度より、会場費の補助（上限5千円）をリーグからあったが、結果的に例年と同じような大会数だったのではないか？

今年度の後期リーグ、ご協力ありがとうございました。

## 地区トップリーグ運営委員会報告

2019年2月24日  
地区トップリーグ担当 玉生謙介

東京FAの2種委員会からの要望を受け、11/22に学習院中高等科にて緊急の運営委員会を行い、来年度以降の地区リーグ（地区トップリーグも含む）について協議しました。

主な内容は、以下の通りとなります。

### 1. 2種委員会からの要望について（別紙「東京都2種大会に関する要望について」より抜粋）

- ① 2020年度の地区トップリーグのチーム数を40チームとする。
- ② トーナメントの合間に行うリーグ戦が8日間に3試合となるような入れ方は、できる限り避ける。
- ③ 選手の負担を軽減するために、平日ナイター開催はできる限り避ける。
- ④ 各地区リーグの運営を統括し、同一レギュレーションから代表チームが選出されるようにする。
- ⑤ 2020年度までに同一リーグに同クラブの参加は避ける。
- ⑥ 同一クラブの下位チームの参加については、以下の通り要望する。
  - ◆ リーグの参加条件に従って、単独チームとして運営できるように指導する。
  - ◆ 同一クラブの下位チームに上位リーグ昇格権限があっても、同一クラブ上位チームが降格した場合は、同一クラブ下位チームに昇格権限はなくなり、同一クラブ下位チームは降格する。

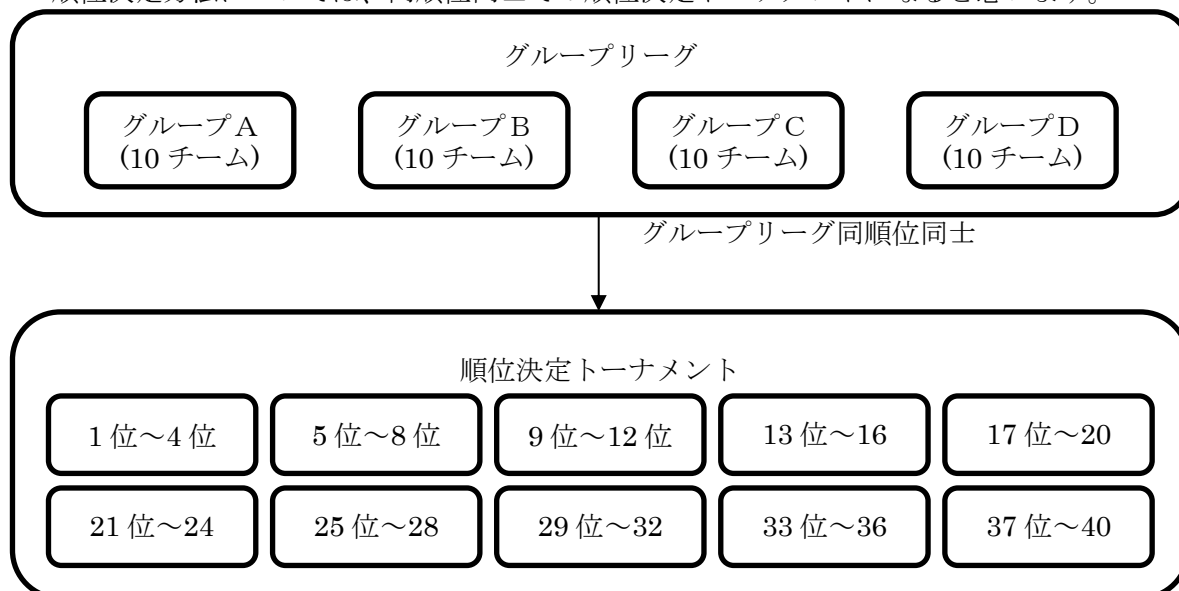
### 2. 地区トップリーグ・各地区リーグの対応について

2種委員会からの要望を受けて、2020年度に実施（一部、2019年度から実施）として以下のようになります。

#### ① 2020年度からの地区トップリーグのチーム数について（上記1.①）

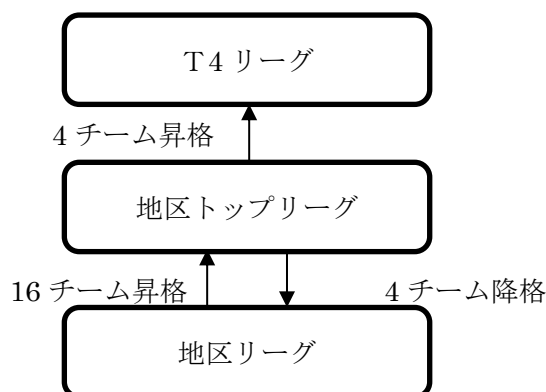
1) 2020年度からは、チーム数を40チームとします。（10チーム×4ブロックを予定）

順位決定方法については、同順位同士での順位決定トーナメントになると思います。



2) 昇降格について

地区トップリーグ上位 4 チームが T4 リーグへ昇格、下位 4 チームが地区リーグへ降格  
地区リーグの上位 2 チームが地区トップリーグに昇格



※ 2020 年度の T4 リーグが 20 チームとなることが前提とした案です。

② 選手の負担を軽減について（上記 1.②・③ 2019 年度より実施）

- 1) これは、『週末に試合 → 平日にナイターで試合 → 週末に試合』というサイクルを避けるということです。
- 2) 平日にナイターで試合を行った場合は、その週の週末には試合を行わないことも含みます。

※ 試合とは、トーナメント大会・リーグ戦を指します。

③ 各地区リーグのレギュレーションの統一（上記 1.④・⑤・⑥）

1) 1 部リーグの試合時間・交代人数

試合時間を 90 分・交代人数を 5 名に統一します。

【参考：2018 年度各地区リーグ 1 部リーグの試合時間・交代人数】

	1 地区	2 地区	3 地区	4 地区	5 地区	6 地区	7 地区	8 地区
試合時間	90 分	90 分	80 分	80 分	90 分	80 分	80 分	80 分
交代人数	5 名	5 名	6 名	9 名	9 名	9 名	9 名	制限無

2) 同一リーグに同一クラブ複数チーム参加について

2020 年度から各地区リーグ 1 部リーグについては、同一リーグに同一クラブ複数チームの参加は避けるといこととなります。（1 部リーグは、各クラブ 1 チームのみの参加）

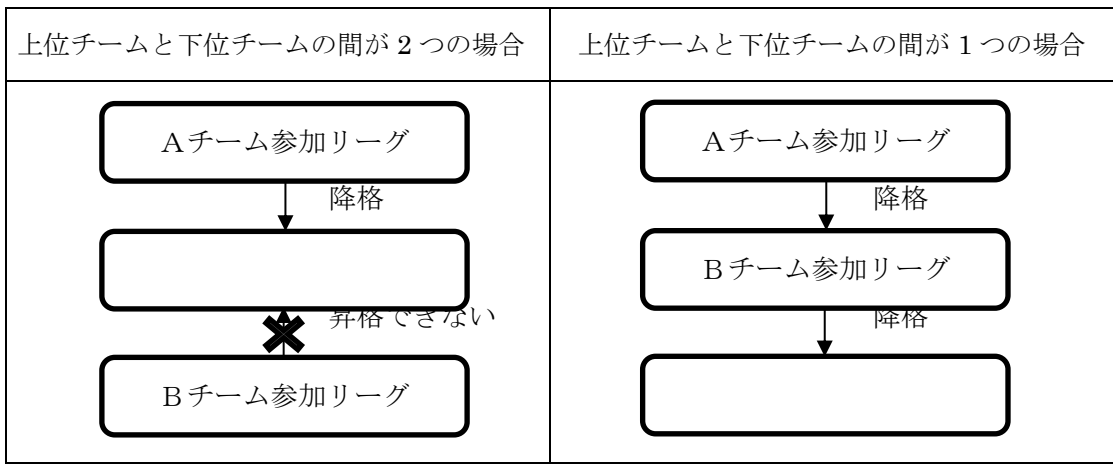
3) 同一クラブ下位チームの参加について

単独チームとして運営能力を備えること（グラウンドの確保・同一クラブの上位チームとは別に活動ができることなど）

4) 同一クラブ複数チームの昇降格について

同一クラブの下位チームに上位リーグへの昇格権を有していても、同一クラブの上位チームが降格となった場合は、条件によっては、昇格権が無くなり、順位に関係なく下位リーグへ降格となることがあります。

- ◆ 上位チームが下位チームの 2 つ以上、上のリーグに参加している場合  
下位チームは昇格することができます。
- ◆ 上位チームが下位チームの 2 つ上のリーグに参加している場合  
下位チームは昇格権が無くなり、現リーグに残留となります。
- ◆ 上位チームが下位チームの 1 つ上のリーグに参加している場合  
下位チームは昇格権が無くなり、下位リーグへ降格となります。（玉突き降格）



以上